

第27回UTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実施要項

1. 大会趣旨

本大会は、県下の少年野球チームが、数多くのチームと交流し、技術の向上はもとより、相互の友情と連帯の輪を広げ、合わせてスポーツ少年団員としての自覚と誇りを高めることを目的とする。

2. 主催 UTYテレビ山梨、
UTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実行委員会
3. 後援 山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、山梨県野球連盟、
読売新聞甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、
(株)エフエム富士、(株)山梨新報社
4. 協賛 NTT 東日本 山梨支店、JA 山梨厚生連、(株)桔梗屋、日本生命保険相互会社甲府支社、
富岳物産(株)、CS Auto Service、生活協同組合ユーコープ、貢川整形外科病院、
アーバンスポーツランド、甲府住宅設備(株)、(株)保険ドリーム、(株)大黒屋、
(有)アール・ムコヤマ、スポーツデポ甲府昭和インター店、八ヶ岳乳業(株)、
岩野精肉店、(株)ハッピーカンパニー、(株)AS フーズ、ナガセケンコー(株)、
5. 協力 埼玉西武ライオンズ

6. 日程

- ・7月13日(金) 組み合わせ抽選会・監督主将会議

会場：甲府市総合市民会館

(受付 18時00分～ 抽選会 19時00～)

- ・8月3日(金) 開会式会場：小瀬スポーツ公園野球場

(受付 17時30～ 開会式 19時00分～) ナイター

※8月3日が雨天の場合、8月10日に順延

(受付 17時30～ 開会式 19時00分～) ナイター

- ・ 8月4日（土） 1・2回戦
試合会場：春日居スポーツ広場 他
- ・ 8月11日（土） 3・4回戦
試合会場：玉穂ふれあい広場 他
- ・ 8月12日（日） 準々決勝
試合会場：飯田球場、青葉球場
- ・ 8月18日（土） 準決勝・決勝
試合会場：小瀬スポーツ公園野球場

予備日…8月14日（火）、

8月 4日（土）順延⇒8月 11日（土）実施の場合

会場の変更がございます。

8月 11日（土）順延⇒8月 12日（日）実施の場合

会場の変更はございません。

8月 12日（日）順延⇒8月 14日（火）実施の場合

会場の変更はございません。

8月 18日（土）順延⇒8月 19日（日）実施の場合

会場の変更はございません。

7. 出 場 資 格 出場チームは次に掲げる各項の条件を備えなければならない。

- (1) 山梨県内の小学生で編成したチーム。4年生以上で出場することが望ましい。
- (2) 今年度出場チームは、地域のスポーツ少年団または山梨県野球連盟に登録しているチームのみ出場を認める。
ただし、同一チームで、2チーム以上を編成して出場することも可能。
また、選手数が足りないチームについて両チームの承諾を得た後、補強という形で編成することが可能となる。
(選抜と見えるチームの編成は認めない)
- (3) 参加選手はスポーツ障害保険に加入する。加入しない者は参加を認めない。
- (4) チームのメンバーは20人以内の男女をもって編成する。
- (5) チームは20歳以上の成人男子の責任者を必ずチーム代表者としなければならない。
- (6) 出場については、必ず保護者の同意を得る。
- (7) リトル及びシニアリーグ連盟等に登録している選手は参加できない。
- (8) 出場資格条件の解釈に異論が生じた場合、UTY カップ実行委員会にて別途審議する。

8. 適 用 規 則 「2018年公認野球規則」、「全日本軟式野球連盟競技者必携」を適用する。細部については、
大会要項・特別規則を参照のこと。

9. 投 球 制 限 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日9イニングまでとする。
なお、学童部3年生以下にあつては、1日5イニングまでとする。

10. 大 会 使 用 球 公益財団法人 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールC号を使用する。

11. 参 加 料 1チーム 20,000円を抽選会・監督主将会議の当日納入すること。
(※但し、2チーム以上参加の場合は2チーム目からは10,000円とする)

12. 表 彰 優勝、準優勝、3位(2チーム)を表彰
個人賞(ベストナイン)の表彰

<大会要項>

今大会はUTYカップ山梨県少年軟式野球交流大会実行委員会の決定事項に則り試合運営を行う。

- (1) 選手には必ず背番号（0～99まで）をつける。監督は30番、コーチは28番、29番、主将は10番とする。
- (2) スパイクはゴム製とし、金属及びセラミックスパイクは禁止する。
- (3) 監督、コーチは必ずユニホームを着用すること。
- (4) 投手は変化球を投げることを禁止する。一度注意し、再度投げた場合には投手を交代させる。

なお、その投手は他の守備位置につくことは許されるが、大会期間中は投手として出場することはできない。

- (5) 打者、次打者、走者、コーチは必ず（公財）全日本軟式野球連盟公認のヘルメットを着用する。捕手は（公財）全日本軟式野球連盟公認のマスク、ヘルメット、プロテクター、スロートガード、レガース、ファウルカップを必ず着用する。
- (6) ボークはルール通り採用する。
- (7) 打者に対するデッドボールはルール通り採用する。
- (8) 万一、試合中負傷などの事故があった場合、応急処置は講じるが、以後の治療について主催者はその責任を負わない。
- (9) 試合は7回とし、同点の場合は特別規則の（8）を適用する。
- (10) 各チーム2名～3名の審判の協力をお願い致します。
尚、審判の服装については、審判服又は白ワイシャツ・白ポロシャツ、スラックス（黒又は紺）、審判帽（黒又は紺の野球帽）、運動靴、着用とする。
- (11) 各チームは、試合会場に1時間以上前に入り、グラウンド整備などを手伝って下さい。
（特に初日は、各チーム2名ずつ各グラウンドに派遣して下さい。試合終了後も、グラウンドの整備をお願い致します。）
- (12) 各試合では、グラウンド責任者及び実行委員の指示に従って下さい。

<特別規則>

- (1) シートノックは最初の試合のみ5分間とする。(試合の運行上行わないこともある。)。
※シートノック時の補助員は必ずヘルメットを着用する。
- (2) ベンチは組み合わせの若い方を1塁側とする。
- (3) 学校校庭を使用するときは審判団と協議の上、特別グラウンドルールを設定する。
- (4) 試合は7イニングで、1・2回戦は5回以降7点差以上のときはコールドゲームとし、1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。3回戦～準決勝までは3回以降10点差以上、5回以降7点差以上のときはコールドゲームとし、1時間50分を越えて新しいイニングに入らない。
(ただし、決勝のみコールドゲームは無しとし、最大2時間30分とする。)
- (5) 試合途中で暗黒、降雨の場合は4回終了でゲーム成立とする。なお同点の場合はタイブレークを行わず、中断時の9名による〇×式抽選を行う。
- (6) 次打者は速やかにネクストバッターズサークルで待つ。*投手も必ず実行する。
- (7) バットボーイは競技の妨げにならないよう、バットの回収を行う。
- (8) 同点の場合
◎1回戦～準決勝 タイブレーク方式を1回行い、決しない場合は、試合終了時の9名による〇×式抽選を行う。
◎決勝戦 7回までで勝敗が付かない場合は、タイブレーク方式を最大2回行う。決しない場合は、試合終了時の9名による〇×式抽選を行う。
- (9) 1回戦での同一地区対戦を避けるため、県内を7ブロックに分けて抽選を行う。
- (10) 抗議については、監督と当該プレーヤーとする。
 - (11) 試合中の雷雨については、審判団の指示にすみやかに従うこと。
 - (12) チーム並びに応援団は、(公財)全日本軟式野球連盟競技規則に触れないよう注意すること。
 - (13) 他に特別規則にない事項は(公財)全日本軟式野球連盟取り決め事項、特別規則を適用する。
 - (14) 必要であれば熱中症対策及び選手の健康管理のために3名の保護者のベンチ入りを認める。
 - (15) 各チームは救急箱を用意して下さい。

- (16) 各会場・グラウンド周辺のゴミはチームごとに必ずお持ち帰り下さい。
- (17) 開会式で使用するグラウンドへは芝生等のグラウンド整備上、監督、コーチ、選手のみがグラウンドへ入場できるものとし、それ以外の者は入場を禁止する。

○×式抽選方法について

- ① 両チーム監督立ち会いのもと、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが投手からポジション順に終了あいさつの状態に整列する。
- ② 抽選用紙に○印・×印を記入したものを各9枚ずつ封筒に入れる。
- ③ 球審が18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
- ④ 二人の審判員が両チーム監督の立会いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。